

環境活動レポート

2011年度



太陽油脂株式会社

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

太陽油脂株式会社
代表取締役社長 土屋 重美

2) 所在地

神奈川県横浜市神奈川区守屋町2-7

3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

製造二部長 原 充宏
TEL 045-441-4962 FAX 045-441-9671

事業の概要

1) 事業内容

- 加工油脂部門・・・ショートニング、マーガリン、その他食用加工油脂および油脂加工品の製造販売
- 家庭品部門・・・家庭用・業務用石けん、シャンプー、ハミガキ類、化粧品の製造販売

2) 事業規模

生産量 69,639トン/年
従業員数 212人(2011/12/31現在)
床面積 10,882平方メートル



2. 対象範囲

1) 認証・登録範囲

- 加工油脂部門・・・ショートニング、マーガリン、その他食用加工油脂および油脂加工品の製造販売
- 家庭品部門・・・家庭用・業務用石けん、シャンプー、ハミガキ類、化粧品の製造販売

2) レポートの対象期間及び発行日

- 対象期間：2011年04月～2012年03月
- 発行日：2012年06月28日

加工油脂
processed oils and fat



石けん&化粧品
soap & cosmet



3. 環境方針

A-KE002-02-0

環境方針

太陽油脂は、「誠実をモットーに、確かな技術ともつくり精神に裏付けられた、人と、地球に優しい、安心・安全な製品の提供と各種の経営活動を通じて、心豊かで健康的な暮らしと社会・自然の持続可能な発展に貢献します」と掲げた企業理念の下に、以下の環境方針を定めます。

1. 環境、社会との共生に視点を置いた企業活動

- 1-1、太陽油脂は重要な社会的課題・環境問題に真摯に対応する経営の実践を通じて社会的責任を果たしていきます。
- 1-2、太陽油脂は「人、社会そして環境への貢献」を考えた具体的な経営活動・事業活動を積極的に展開していきます。

2. 人と環境に優しい製品の提供

- 2-1、太陽油脂は、「人と、地球に優しい」に拘った食用油脂製品と石けん製品を通じて、お客様に豊かで「安心・安全な生活」とともに「環境に優しい生活」をも提供していきます。
- 2-2、太陽油脂は、原料調達・生産から製品使用までの企業活動のあらゆる段階での環境への取り組みにおいて、環境関連法規、自主ルール等を順守しつつ「省資源・省エネルギー」「排水・廃棄物削減、リサイクル」等を推進していきます。

太陽油脂は、この環境方針の全従業員への周知徹底を行い、全員参加による環境、社会との調和を目指した企業活動を推進していきます。

改訂日 2010年 12月 1日

太陽油脂株式会社

代表取締役社長

土屋重美

4. 環境目標及び環境目標の実績

1) 環境目標

2010年度の実績を踏まえ、2011年4月に環境目標を見直し、中期環境目標は以下の通りです。(年度:4月～3月 以下同じ)

製品生産量当たり	基準年度実績 2010年度	基準年度比 2011年度目標	基準年度比 2011年度実績	基準年度比 2012年度目標	基準年度比 2013年度目標
二酸化炭素排出 (kg-CO2/t)	225	99.0%	94.5%	97.6%	97.1%
廃棄物排出量(t/t)	0.0642	98.6%	96.6%	96.6%	96.6%
食品廃棄物の発生抑制(t/t)	0.0234	102.1%	97.9%	97.2%	96.4%
食品リサイクル リサイクル率(%)	98.08%	97.0%	98.1%	98.0%	98.0%
排水量(m3/t)	3.01	97.9%	99.4%	99.1%	99.1%
化学物質使用量(kg/t)	0.0725	99.0%	93.3%	95.2%	95.2%
グリーン購入 (作業着、事務用品)	1,353,173円	105.0%	135.0%	150.0%	160.0%
環境配慮設計 (家庭品事業)	20品/年	20品/年	42品/年	20品/年	20品/年
地域とのコミュニケーション (石けん学習会など)	115回/年	80回/年	86回/年	100回/年	100回/年

2) 環境負荷の実績

		基準年実績 2010年度	実績 2011年度	基準年度比(%)	
二酸化炭素排出量	電気使用量: 排出係数 0.374 (kg-CO2/kWh)	原単位(kg-CO2/t)	22.9	23.11	100.9%
	化石燃料使用量 排出係数 0.4314 (kg-CO2/m ³)	原単位(kg-CO2/t)	202.00	189.46	93.8%
	合計	原単位(kg-CO2/t)	224.90	212.57	94.5%
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	原単位(t/t)	0.0015	0.0013	86.7%
	産業廃棄物排出量	原単位(t/t)	0.0642	0.0607	96.8%
	合計	原単位(t/t)	0.0642	0.0620	96.6%
食品廃棄物	発生量	t	1,479	1,562	105.6%
	発生抑制量	t	143.4	189	131.8%
	再生利用量	t	911.944	973.35	106.7%
	熱回収量	t	567.47	588.356	103.7%
	減少量	t	0	0	-
	再生利用等以外の量	t	0	0	-
	廃棄物としての処分量	t	0	0	-
再生利用等の実施率	食品リサイクル率 (%)		98.1%	98.1%	-
排水量	排水量	原単位(m ³ /t)	3.01	2.99	99.3%
化学物質使用量	化学物質使用量	原単位(kg/t)	0.0725	0.0676	93.2%

5. 環境活動計画及び環境活動計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容(主要な活動計画の内容と取組み結果の評価)

1) 主要な取組み内容と結果

活動項目	取組み内容	取組み結果	
二酸化炭素排出量削減	電力使用量	①事務所用蛍光灯並びに野外灯の更新時に省エネタイプの照明器具採用。 ・40w 2灯用⇒Hf 32w 2灯用器具を採用 FLR40w(2灯)消費電力102w/h⇒Hf 32w(2灯)消費電力 65w/hに変更する事で、37w/hの電力削減 ・LED照明を試験的に設置 ②昼休み消灯 ③空調温度管理及び更新時 トップランナー機種選定(エネカット設置) 夏(6月～9月)27～28度設定 冬(12月～3月)20～22度設定 ④パソコン・テレビ待機電力削減	①Hf32w・・・46箇所交換 LED・・・37箇所交換 ②各部署で実施 ③温度設定各部署で実施 老朽化チラーユニット1台更新 ④各部署で実施
	化石燃料使用量	①出張時の公共交通機関の積極利用 ②アイドリングストップの励行 ③急発進、急加速をしないエコドライブの徹底	①該当部署(営業部など)で実施 ②商用車及び入構車輛で実施 ③商用車で実施
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量	①縮小コピー ②両面コピー ③FAXのメール化 ④マイタオルの使用(職場場所限定)で紙使用量削減 ⑤一般廃棄物は単純焼却から再利用へ分別徹底する。	①・②各部署で実施 ③営業部で実施④可能な部署で実施 ⑤市の指導に基づき各部署分別徹底
	産業廃棄物排出量	①脱色用白土添加量削減と廃白土油脂分別削減で廃白土削減。 ②不適合品の削減で廃油・脂肪酸量排出削減	①廃白土削減目標に向け活動 ②不適合削減目標に向け活動
食品廃棄物発生量削減	食品廃棄物発生原単位削減	①効率的な製品製造(収率UPなど) ②賞味期限切れ製品の削減(ムダのない生産計画)	①2011年度の発生抑制実績:0.0229(t/t)
	食品リサイクル率	①再資源化率を監視し、資源化率97%以上継続維持する。	2011年度の資源化率:98.12%
排水量削減	総排水量削減	①トイレの水タンクへの1Lペットボトル。 ②節水コマの使用 ③水道栓の交換(フタタッチ式) ④屋根雨水回収計画の作成	①実施中 ②各部署で実施 ③各部署で実施 ④検討実施
化学物質 使用量削減	化学物質 使用量削減	加工工程の変更使用量減で維持	①使用量削減は、昨年度維持目標で実施
グリーン購入	グリーン購入推進	①エコマーク品の職服を購入する(製造部・研究開発部・品質保証部) ②事務用品のエコマーク品を購入する(たのめーる・ASKUL等からグリーン購入の活用) ③他のグリーン購入品(家電製品など)	①購入金額:基準年度(2010年度)比135%
環境配慮設計	環境配慮設計	石けん事業 合成界面活性剤を使用せず石けんをベースにした商品開発	石けん事業 42品種を商品開発
地域とのコミュニケーション	地域とのコミュニケーション	工場見学会、手作り石けん教室、環境講演会を開催する	年間86回実施(7.17回/月)

2) 主要な取組みの評価

E A21による環境活動も4年目となり、新たな中期環境計画達成に向けての環境活動となりました。H23年3月11日に発生した東日本大震災、福島原子力発電所事故等の影響で計画停電や電力使用量ピークカットなどが行われるなど日本全体が節電などのエコ活動を意識した社会状況の中、全従業員が日ごろ実施しているE A21環境活動の重要性をより強く意識出来たと思います。H23年度環境活動ですが、概ね目標を達成できました。二酸化炭素排出量削減の目標は3月からの新工場(NCC工場)稼動に伴う購入電力量増加はあったものの排出量目標、主要製品生産量(kg-CO2/t)当たりの排出量削減の目標を達成できました。廃棄物総排出量削減の目標は主要製品生産量が見込み以上に増加した為、目標を上回ってしまいましたが主要製品生産量当たりの排出量は目標を達成しました。化学物質使用量削減目標についても達成しております。又、食品廃棄物発生抑制の取組みですが、発生量及び製品(食品)生産量当たり(基準発生量原単位)の目標共に達成出来ました。食品リサイクル率の取組みも目標を達成しました。総排水量削減の取組みは新工場稼動により上水使用量が増加したものの、目標は達成しました。グリーン購入、環境配慮設計製品の開発、地域とのコミュニケーション(石けん学習会など)の取組みについても目標を達成しました。

3) 次年度の取組内容

活動項目	取り組み内容
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減 ①事務所用蛍光灯並びに野外灯の更新時に省エネタイプの照明器具採用。 ・40w 2灯用⇒H f 32w 2灯用器具を採用 FLR40w(2灯)消費電力102w/h⇒H f 32w(2灯) 消費電力65w/hに変更する事で、37w/hの電力削減 ・LED照明及びH f 32wの省エネタイプを積極的に導入 ②昼休み消灯/パソコン・テレビ待機電力削減 ③空調温度管理及び更新時トップランナー機種選定(エネカット設置) 夏(6月~9月)27~28度設定 冬(12月~3月)20~22度設定 ④温水タンク停止(夏場の昼間)
	化石燃料使用量削減 ①出張時の公共交通機関の積極利用 ②アイドリングストップの励行 ③急発進、急加速をしないエコドライブの徹底 ④コンテナ輸送の促進 ⑤生産量に合わせた効率の良い積載
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量削減 ①縮小コピー ②両面コピー ③FAXのメール化 ④マイタオルの使用(職場場所限定)で紙使用量削減 ⑤一般廃棄物は単純焼却から再利用へ分別徹底する。
	産業廃棄物排出量削減 ①脱色用白土添加量削減と廃白土油脂分削減で廃白土削減。 ②不適合品の削減で廃油・脂肪酸量排出削減
排出量削減	排出量削減 ①の水タンクへの1Lペットボトル。 ②節水コマの使用 ③水道栓の交換(ワンタッチ式) ④屋根雨水回収計画の作成
化学物質使用量削減	化学物質使用量削減 加工工程の変更、使用量減で維持
食品廃棄物発生量削減	食品廃棄物発生原単位削減 ①効率的な製品製造(収率UPなど) ②賞味期限切れ製品の削減(ムダのない生産計画)
	食品リサイクル率 再資源化率を監視し、資源化率98%以上継続維持する。
グリーン購入	グリーン購入推進 ①エコマーク品の職服を購入する(製造部・研究開発部・品質保証部) ②事務用品のエコマーク品を購入する。 (たのめる・ASKUL等からグリーン購入の活用) ③他のグリーン購入品(家電製品など)
環境配慮設計	環境配慮設計 石けん事業 合成界面活性剤を使用せず石けんをベースにした商品開発
地域とのコミュニケーション	地域とのコミュニケーション 工場見学会、手作り石けん教室、環境講演会を開催する

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1) 適用法令等の順守状況の確認及び評価の結果

適用法令等	対象施設	遵守状況の確認及び評価の結果
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	全社	「公害防止統括者(同代理者)選任・解任届出書」、「大気関係公害防止管理者(同代理者)選任・解任届出書」、「水質関係公害防止管理者(同代理者)選任・解任届出書」…問題なし
大気汚染防止法		「ばい煙発生施設(使用、変更)届出書」排煙(Noxの許容限度)の規制基準
横浜市生活環境の保全等に関する条例	ボイラー、ガスタービン、悪臭	「指定事業所設置許可申請書」、「指定事業所に係る変更許可申請書」年2回Nox測定、定期報告 異常時の処置と対策…問題なし
水質汚濁防止法	排水処理設備	「特定施設設置(使用、変更)届出書」、「特定施設使用等開始報告書」排水規制基準、水質測定、定期報告…問題なし
横浜市生活環境の保全等に関する条例		公共用水域に排出される排水の規制基準 異常時の処置と対策…問題なし
騒音規制法	圧縮機	基準遵守、工業専用地域の為対象外…問題なし
振動規制法		基準遵守、工業専用地域の為対象外…問題なし
工場立地法	生産施設、緑地	生産施設、緑地の確保…問題なし
消防法	屋内貯蔵所	「危険物貯蔵所設置許可申請書」 「指定可燃物貯蔵・取扱開始届出書」
	指定可燃物(タンク)	年2回の消防用設備定期点検。
	少量危険物(薬品庫)	「少量危険物貯蔵開始届出書」指定数量内の貯蔵、施設の点検、防災訓練強化…問題なし
浄化槽法	浄化槽	「浄化槽設置計画書」年1回の定期検査、年2回の清掃
横浜市福祉のまちづくり条例	建物、トイレ、スロープ等	「整備基準適合証」…問題なし
横浜市駐車場条例	構内駐車場	「附置義務駐車施設(設置、変更)届出書」
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRT法)	化学物質	「第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出書」…問題なし
PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	コンデンサー	「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管及び処分状況等届出書(保管事業者用)」 密閉(sus製)容器に保管、年1回報告…問題なし
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物置き場	「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」マニフェスト管理 「産業廃棄物処理計画」廃棄物置き場での掲示済み
横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例(規則)	全社	「産業廃棄物排出状況報告書」…問題なし
高圧ガス保安法	冷凍設備	特定施設届出済み、規制基準内、危害予防規定提出済み。 危害予防規定届出済み、冷凍保安責任者を選任届出済み…問題なし
省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)	全社	CO2換算で温室効果ガス排出算出 排出量の定期報告(省エネ法定期報告で代用)…問題なし
温対法(地球温暖化対策の推進に関する法律)	全社	「エネルギー管理統括者/エネルギー管理企画推進者選任届出書」、 「エネルギー管理者選任届出書」「定期報告書」、 「中長期計画書」(1%以上/年平均のエネルギー消費原単位低減努力) …問題なし
容器包装リサイクル法	工場	再商品化義務、再商品化委託料金の算出、識別表示 「再商品化委託契約申込書」((財)日本容器包装リサイクル協会)…問題なし
食品リサイクル法	工場、倉庫	食品廃棄物の再生利用、削減計画、報告…問題なし
労働安全衛生法	全社、分析部署	健康診断(特殊検診含む)、有機溶剤中毒予防規則の遵守…問題なし

2) 違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局より違反の指摘及び訴訟は過去、5年間ありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

年度末の評価は、単に目標値(数字)を達成した未達だったでは無く、きっちり中身を評価し今後の活動に繋げること。(P D C Aがしっかり回るように) E A21活動も太陽油脂(株)の企業価値を高められる様な他社とは違う(差別化)活動を積極的に取り入れた環境活動を検討していくこと。環境活動とコストダウンはトレードオフの関係になるケースも出てくるが、知恵を凝らして両立させる努力を行い、ケースによってはコストダウンより優先させる等の取組み・目標設定も必要である。

8. 環境活動報告(2011年度)

◎環境配慮設計商品の開発発売

最近の環境変化に伴い、日常使用している洗浄剤や化粧品で、地球環境を汚さず肌に優しい商品へのニーズが高くなっています。太陽油脂家庭品販促・開発部では、環境にやさしい石けん商品を開発してきましたが、今回、好評であったボックスお肌しあわせシリーズの、ボディソープとボディウォーターを新たに発売しました。また、ボックスナチュラルシリーズ、ボックスオリーシリーズのシャンプー・リンス・ボディソープ、ボックスナチュラルハンドソープのリニューアルを行いました。本年度に開発した商品は、全て以下の『環境配慮設計の基準』を満たしております。

環境配慮設計の基準

- ①P R T R指定物質、医薬部外品の表示指定成分の有害性の指摘のある合成化学物質は使用せず、石けんなどの生分解性良い原料を使用する。
- ②製品は常圧以下で約100℃以下の温度で製造する。
- ③紙、段ボールなどリサイクルできる素材を採用し、塩素を含むプラスチック素材は使用しない。
- ④詰替可能なものは「詰替用商品」を積極的に作る。

環境配慮商品 (2011年度新製品)



ボックスお肌しあわせ
ボディソープ
泡ポンボトル400ml・詰替用350ml

ボックスお肌しあわせ
ボディウォーター
本体 200ml・詰替用180ml

環境配慮商品 (2011年度リニューアル製品)



ボックスナチュラルシャンプー
ボトル400ml・泡ポンボトル500ml・詰替用500ml



ボックスナチュラルリンス
ボトル400ml・ポンボトル500ml・詰替用500ml



ボックスナチュラルボディソープ
泡ポンボトル500ml・880ml・詰替用500ml



ボックスナチュラルハンドソープ
泡ポンボトル260ml・500ml・詰替用450ml



ボックスオリーシャンプー
泡ポンボトル550ml
・詰替用500ml



ボックスオリーリンス
ポンボトル550ml
・詰替用500ml



ボックスオリーボディソープ
泡ポンボトル550ml
・詰替用500ml

◎地域への貢献

太陽油脂は会社創立(1947年)当時より、粉石けんや台所石けん、石けんハミガキなどをお届けしてきました。そして近年、「ボックスナチュラル」、「ボックスオリー」、「ボックスベビー」シリーズの石けんシャンプー、ボディソープ、クリーム類も製造販売してまいりました。この間、消費者や生協などの団体に、石けんの使い方、石けんの環境に対する良さについて講習会などを通して広くお伝えしてまいりました。2011年度は、地域住民・学校・婦人団体・NPO団体を対象に石けん講座、手づくり石けん教室、工場見学会を、合計86回(2010年4月～2011年3月)実施しました。

石けん講座、工場見学会

内容

- ①植物油(オリーブ油、パーム油など)を使用した手づくり石けん(5～20分ペットボトルを振ってつくる。)
- ②合成界面活性剤などの合成化学物質を使わない、シンプルライフ、石けん生活の提案
- ③コージェネ(熱電併給)・ソーラーパネル発電を活用した石けん工場の見学。子供向けには石けんチップを使った石けん作り

対象(参加団体)

- 生協・農協(パルシステム生活協同組合連合会、ゆめコープ、あいコープみやぎ、ナチュラルコープ横浜、よつ葉生協、グリーンコープ連合、JA四日市など)
- 行政・学校(子安小学校、神奈川小学校、青木小学校など)
- 共同購入・店舗(太陽サービス、大地を守る会、石けんの家、ジェリーフィッシュ、オルター・トレード・ジャパンなど)
- 環境団体(横浜グリーン購入ネットワーク、アースガーデン、リサイクルデザインフォーラム・エコプロダクツなど)

参加人数 合計2969人(平均39人/回)

石けん教室の様子

地域の小学校の総合学習の一環として、昨年に引き続き「石けん教室」を開催しました。身近にある石けんを自分たちの手で実際に作ることで、楽しみながら環境についての学習が出来たと思います。後日、学習したことを新聞にした「石けん新聞」や「クラスみんなで石けん作りをしたい」、「洗太くんのマークに気をつけて買い物をしたい」などの感想を頂きました。これらの取り組み内容については、「泡エコ通信(ナチュラル通信)」にして希望者に年3回、3万部配布しています。



◎第13回グリーン購入大賞(中小企業部門)を受賞

環境配慮設計商品の開発発売や石けん講座・工場見学会などの活動による実績・効果が認められ、第13回グリーン購入大賞の中小企業部門にて大賞を受賞しました。



◎青森県八甲田ホテル取組み

2012年1月25日の毎日新聞に、10年以上にわたって太陽油脂の石けん製品を使い続けている「酸ヶ湯温泉八甲田ホテル」での総支配人との対談記事が掲載されました。



◎エコプロダクツへの出展



太陽油脂では、
昨年引き続き12月15～17日の3日間、東京ビッグサイトにて行われた「エコプロダクツ2011」に出展しました。



また、昨年出展時にご紹介して好評だったタイの伝統工芸「ソーパークーピング」がさらにパワーアップしてブースを飾りました。



太陽油脂のブースでは、石けんのことを誰にでも分かりやすく知ってもらうために太陽油脂のマスコットキャラクター「洗太くん」が登場し、石けんの歴史や作られ方、なぜ石けんは安全なのか、何故合成洗剤は良くないのか等を映像にてご紹介しました。(太陽油脂ホームページに動画有)



太陽油脂株式会社